

那須町振興計画基本構想（素案）に対するパブリックコメント（意見募集）の結果について

1. パブリックコメント実施状況

- (1) 募集期間 平成27年11月18日（水）～平成27年12月18日（金）
- (2) 提出者数 5名
- (3) 提出意見数 14件
- (4) 提出方法の内訳
  - メール : 4件
  - 郵送 : 0件
  - ファクシミリ : 0件
  - 直接提出 : 1件

2. 提出意見等の概要と町の考え方

No.	意見等の概要	町の考え方
1	第6次那須町振興計画の検証にて。各分野共高い達成率を示し、行政の努力の結果を嬉しく思います。但し、各施策のウエート付けがどのようになっているのか、計画時点の割合を知りたい。	那須町では、これまで計画的なまちづくりを継続的に推進していくため、振興計画を策定してまいりました。その間、計画の実現に向け、多岐にわたる行政施策を、毎年の予算を通し実施してきたところであります。各施策のウエート付けにつきましては、結果として予算の配分がそれに対応するものであると考えております。今後、町民の皆様には町の財政状況の報告等により、分かりやすくお知らせしてまいります
2	311震災後、多くの森林伐採によってメガソーラの急速な拡大が行われています。又、平成26年に景観法の一部改訂が行われ、施行当時の指針が実施されずに後退を余儀なくされています。このような視点から、この目標（【分野別目標1】自然と共生するまち）について達成度に疑問を持たざるを得ません。	第6次那須町振興計画の検証につきましては、各施策の実施状況に着目した職員による内部評価を行い、分野別目標ごとの達成度を整理・提示しておりますが、今後とも、それぞれの取り組みに対する客観的な評価のあり方について検討していくとともに、積み残された課題への対応に努めてまいります。

<p>3 本素案全体にいえる事ですが、データの取り扱いに疑問を持ちます。経営計画を立てる時には、マクロ要因、ミクロ要因分析は慎重に行われますが、それを支えるデータの存在は大きなウェートを占めます。その視点では、観光に関するデータは、平成26年、商業は平成19年、工業は平成25年、人口統計は、平成22年度を採用されています。人口動態調査は、もっと確度を高く行う必要を感じます。日々、庁舎、HPに那須町の人口、世帯数の表示があります。この数字も公的データです。5年前のデータは旧すぎます。このデータからは、年齢構成の変化はあるものの人口は比較的安定し減少化傾向を予測するのは難しいのではないのでしょうか。又、那須町人口移動状況についても、将来の計画を策定する上で必要不可欠でしょう。私もそうですが、町外から移転者が大きなウェートを占めているはずで、町長の御挨拶の中でしばしば耳にしますが、現時点では、50%近くになっているかと推察します。転出者はどのような世代ですか。高齢移住者の定着度、逆Uターンはどれほどですか。又、住民票を移動せず定住している人口、世帯数は把握されていますか。</p> <p>「那須町の男女別産業人口」データは、何年のものですか。国勢調査データであれば、平成22年度でしょうか。明記した方が良いでしょう。しかし、データが旧すぎます。</p> <p>「夜間人口比率の推移」このデータも旧すぎますね。予測するのであれば、系数などを掛けて予想データを示して検証すべきでしょう。</p> <p>少子高齢化はマクロ要因としては理解できます。若者の流出とありますが、感覚としては理解できますが具体的なデータを示すべきです。分析をして要因を抽出しないと事業計画は難しいでしょう。又、高齢化の移住者とありますが、人口・世帯数の推移で示しましたように、具体的なデータを示す必要はないのでしょうか。</p>	<p>統計データにつきましては、最新のものを使用しておりますが、基本になる統計については、国・県・他自治体との比較検証する必要があり、また、予算等の制約から、国で実施する指定統計の結果を使用せざるを得ないのが現状であります。しかしながら、個別計画の策定にあたっては、より精緻なデータも必要となることから、できる限り最新のデータを使用してまいります。</p>
---	--

4	<p>移住者は、那須の自然豊かさを求めてくることも大きな要因ですが、じっとしている訳ではありません。学ぶ意欲が強いのです。地域公民館、歴史探訪館等が開催しているような催しを拡充する必要を感じますし、シニアカレッジへの環境作りも不可欠かと思えます。健康寿命を延ばす目的からも、生涯学習の環境作りとサポートも課題です。</p>	<p>健康寿命の延伸を推進していくためには、生きがづくりや健康づくりが重要な課題であると考えております。今後、第7次那須町振興計画の基本計画を策定する中で施策の取組みを推進してまいります。</p>
5	<p>少子化対策は、国の施策だけではなく町の施策として子育て環境作りが急務かと思えます。町内に産婦人科医院はありますか？ 那須町の合計特殊出生率は幾つですか？ 抽象的は表現に留まらずデータで示すことで、施策が講じられるのではないのでしょうか。</p>	<p>第7次那須町振興計画基本構想は、町の将来像を定め、それを実現するため8つの基本方針を設定しております。その中の“子育て・健康・福祉”のまちにおいて、子ども・子育て支援環境の充実を掲げております。今後、第7次那須町振興計画の基本計画を策定する中で施策をより具体的に示してまいります。</p>
6	<p>(2) 定住拠点とP30の住宅ゾーンとの相関、関連性はどのように理解したらよいですか。</p>	<p>P31の住宅ゾーンは、国土利用計画那須町計画において既存市街地ゾーンとなっています黒田原駅周辺地域、高久駅周辺地域、那須塩原市近隣地域（新高久、新西原）を示しております。また、定住拠点は今後の住宅建設地として期待される「高久駅周辺」及び「那須塩原市近隣地域」を示しておりますが、まちの空間構造の図につきましては、より分かりやすい表記となるよう修正してまいります。</p>
7	<p>地域（自治体）が継続的に繁栄するためには当然のことながら自治体がまず経済的に豊かでなければなりません。そのために、那須町の特性である豊かな自然とそこから生まれる恵みを十分活用することが必須です。まずは今後増えるであろうインバウンドへの十分なる対応でしょうか。見ておりますと海外からの観光客はあまり見かけません。何を観光資源とするかですが一つは温泉だと思えます。今のように裸で入る温泉ではなく水着を着て入れる施設を作ってもいいのではないのでしょうか？ また、那須には歴史ある宿場町である芦野宿があります。この街を再開発していわゆる日本風情を残した景観を持つ街並みに変えるのも良策と考えます。観光客は国内外を含めて那須町を面で見ると観光開発が必要です。那須街道沿いだけでなく面での観光開発が必要と思えます。又、観光シーズンは春と秋が主力になると思えますが夏、冬の利用客を増やすべきではないのでしょうか。例えば冬はスキー場で雪合戦大会を開くとか、犬ぞりレース大会を開くのもいいかもしれません。要は四季すべてにわたり集客する観光資源開発を行うべきと思えます。</p>	<p>国内外の誘客促進を推進するため、町の主要産業である観光振興への取り組みや地域資源をいかした新たな雇用の創出など、計画の実現に向けた各種事業の実施に当たり参考とさせていただきたいと思えます。</p>

8	<p>必要なことは、人口の減少を食い止めることです。街の活気と税収を確保するためには必須事項になります。そのためには0歳から14歳の人口を増勢にする政策が必要です。一つの事例ですが最近銚子市から隣の神栖市に若い女性が大量に移動しているそうです。なぜかというとう産・育児にたいする市の補助が格段に優れているとのこと。私も以前神栖で生活していましたが高校生まで医療費無料でした。市の財政が許す限り重点的に優遇政策を推進し、隣の町からも住みたくなるような状況にすべきと思います。中学生のアンケート調査結果では、将来は那須町に帰ってきたい。が働く職場がない。というような意見もありました。しかし、自然環境を破壊するような企業に立地してほしくありません。那須の自然、景観を生かす産業の立地を推進すべきだと思います。その一番にあげなければならないのは木材産業だと思います。那須には、見るとかなりの植林杉が見られます。これを活用した産業です。まずはシックハウスの心配がない住宅産業の起業化支援を行うことです。今八溝でそのような事業があるようですが有名な建築家を招きブランド化を図ることが必要と思います。さらに伐採した跡地には、水害の被害抑制のため広葉樹を植えることも必要と思います。那須は水資源にも恵まれているのではないのでしょうか？したがって、その水資源を利用した養殖産業も一考に値すると思います。最近ウナギの完全養殖の技術も出来上がりつつあるし、岡山理科大(?)で人工水(真水)を使った海水魚の養殖も研究されています。温泉熱やミネラル分をたっぷり含んだ温泉を利用して従来とは違う味が出てくるやもしれません。この養殖にもし酸素マイクロバブルを使うと成長が早くなると思います。さらに空気が清浄で水に恵まれている立地をコンセプトにIT産業、精密機械産業の立地を考えてもいいのではと思います。近隣にシャープ、東京計器が進出していることから考えて無理な話ではないと思っています。問題は用地の確保です。立地後5年間は固定資産税の減免を行えば立地を検討する企業もあるのではないのでしょうか。</p>	<p>第7次那須町振興計画においては、若年層の転出抑制や流入の促進、子育て層を中心とした暮らしやすい環境づくりなどを重点的な取り組みとして位置づけ、可能な限り人口減少傾向の抑制に努めてまいります。</p> <p>今後、計画の実現に向けた各種事業の実施に当たり参考とさせていただきたいと思っております。</p> <p>なお、那須町でも18歳までの医療費無料化を実施しております。</p> <p>また、企業誘致及び立地促進を図るため、条例を制定し優遇措置を設けております。</p>
---	---	--

9	<p>今、那須町は高齢者の受け入れを考えているようですが、高齢者が不安に思っていることは、自分もしくは伴侶の介護・医療が必要になったときどうするかです。介護はある程度完備されているようですが問題は看護・医療です。だれも病院で死にたくありません。24時間体制で運営できる医療システムがあれば、高齢者はすぐ集まると思います。豊かな自然があり、新鮮な食料を入手できる那須町に不足しているのはこのシステムです。最先端の治療をするのではなく、安心して最後を家で迎えられる体制がぜひほしいのです。温泉療養とセットにしたシステムの実現はそんなにむつかしくないと思います。車で10分以内に看護師が駆けつけられ、その要請に基づいて医師が診療するシステムを実現してほしいと思います。</p>	<p>第7次那須町振興計画において、誰もが住み慣れた地域に、長く住み続けられるまちづくりの推進を掲げ施策を展開していきたいと考えておりますので、要望のひとつといたしまして検討課題に加えさせていただきたいと思っております。</p>
10	<p>[全般的な事業の満足度・重要度]の図中で“景観”“身近な自然状況”の2点は「満足度・重要度ともに高い」とされていますが、国立公園を抱える那須町の自然環境レベルは高いが決して満足すべき状況ではなく劣化傾向にあります。(→例えば、景観計画に関する調査(平成18年那須町建設課)では85%以上がルール(規制)の必要性を感じ、適切な町の取り組みを要望している)一方、図中では自然保全に対する町民の危機意識がまったく読み取れません。</p> <p>また、[全般的な事業満足度・重要度]で、○満足度の高い項目として、“自然や街並み”があげられていますがここも同様の感想(⇒他地域比高レベルだと思うが町民の危機意識が読み取れない)を持ちます。</p> <p>“観光立町”に軸を置くのであれば“景観を含めた自然状況の保全”も喫緊の課題に加えられるべきではないでしょうか。また、重要度の高い項目としてあげられている“観光の振興”は図中では埋もれてしまっているような気がします。</p> <p>こうした点、今回の住民意識調査の設問設定との兼ね合いとは思いますが書き方の工夫がいるのではないのでしょうか。</p> <p>SWOT分析における「那須町にとっての脅威(阻害要因)」にて。COP21会議を受け、再生可能エネルギー導入はさらに強化される方向ですが、メガソーラー景観・地熱発電開発等、環境保</p>	<p>那須町の景観は、本町の主要産業である観光だけでなく、町民生活にとっても欠かせない貴重なものであると認識しております。</p> <p>町では、景観計画・景観条例・屋外広告物条例を他市町に先がけて策定しております。今後、良好な生活空間の形成に向けて、第7次那須町振興計画の基本計画を策定する中で施策の取組みを推進してまいります。</p>

	<p>全問題とは必ずしも合致しません。また、那須街道を見てわかるように観光地域の道路景観は悪化傾向にあります。</p> <p>こうした点からも観光を大きな柱の1つとする那須町では自然環境は“強み”でもありますが現状では環境保全の面からは“発展機会”というよりむしろ“脅威”と位置づけるべきではないでしょうか。</p>	
11	<p>「重点的な取り組み」が基本方針後に出てくるのは若干違和感があります。“将来人口の展望”基本方針、重点取り組みの前に記載されるべきではないでしょうか。</p>	<p>第7次那須町振興計画基本構想においては、町の将来像を定め、それを実現していくための8つの基本方針を設定し、基本方針の実現に向けた施策の内容を示しております。その中でも特に積極的に取り組むべき2つを重点的な取り組みとして設定し、それらを推進していくことにより、人口減少傾向の抑制につながり、将来人口の展望となるよう作成しておりますのでご理解願います。</p>
12	<p>那須町の将来像の1つとして観光立町をあげています。しかし、必須要件かつ財産である自然環境のクオリティを大きく棄損している問題として、従来からの“屋外広告物の取り扱い”に加え、最近では“太陽光発電設備”に関する景観形成問題が浮上しています。</p> <p>本基本構想ではこの2点の観点が埋もれてしまっているように感じます。2. 基本方針（主要施策の内容）で何らかの言及をおこなうべきではないでしょうか。</p> <p>東京からの地理あるいは農業・観光など主要産業構成が類似する軽井沢町では第5次長期振興計画の将来ビジョン(平成25年3月)で、“道路景観は住民だけでなく多くの来訪者が目にする重要な社会資本であり、沿道建築物・広告物や自環境等と一体的な都市景観を作り出す必要がある”とし、基本方針1で“森と高原の快適環境”、同4で軽井沢ブランドによる観光農業振興“をあげ、主要街の電柱地中化などに着手しています。</p> <p>また、上記景観関連2施策（屋外広告物、太陽光発電設備）については追加的な修正を加え、那須町より厳格な規制を導入していることも見逃せない点と思われます。</p> <p>要望として、定量的な表現が将来人口の展望（p28）のみのようなので、できるだけ数値化して達成度が評価できるように、すなわちH37年度に達成できる基本方針（p23～30）を数値化していただきたい。</p>	<p>那須町の景観は、本町の主要産業である観光だけでなく、町民生活にとっても欠かすことのできない貴重なものであると認識しております。</p> <p>町では、景観計画・景観条例・屋外広告物条例を他市町に先がけて策定しております。</p> <p>また、1ヘクタールを超える土地利用がある場合は、土地利用に関する事前指導要綱に基づき行政指導を行っております。今後、秩序ある土地利用の推進及び良好な生活空間の形成に向けて、第7次那須町振興計画の基本計画を策定する中で施策の取り組みを推進してまいります。</p> <p>なお、ご要望にあります定量的な表現としましては、数値化できるものはできるだけ数値化してお示ししてまいります。</p>

	各項目で重点施策をいくつか示し優先的に実現できるようにしていただきたい。	
13	<p>1)隣接する白河市、西郷村、那須塩原市、大田原市との連携が必要でないか。白河市と大田原市(黒羽)とは歴史的にもつながりが深い。各自治体運用バスなどの広域運営を考えたらどうか?</p> <p>2) 棚倉町、埴町町等への交通の利便性を挙げて定住自立圏を促進するために八溝山の下にトンネルを掘り、八溝山地域の住宅、観光、林業などの開発を意図したらどうか?提案であるが、国道16,294に直交する町内東西軸の道路の整備拡充(4車線幅、自転車道、歩道並立)。自転車の那須町の知名度をあげる。</p> <p>3)電線の地中化、那須町の景観を維持するために観光地を優先する。</p> <p>4)高校、大学生に奨学金の支給制度(返還なし)の設定。</p> <p>5)町内小、中学、高校卒業生の道路、余笹川堰堤などに記念植樹する。卒業後に見に来て下さいの意味です。</p> <p>6)別荘住宅について述べたらどうか?</p>	<p>1) 現在、那須町では2つの定住自立圏(八溝山周辺地域、那須地域)において協定を締結し、連携事業の取組みが開始されたところであります。また、福島県との連携につきましては、那須白河会津観光推進協議会等が設立されておりますので、その中で取り組んでまいります。</p> <p>2) 及び3)につきましては、概算でも莫大な予算を要することから検討課題とさせていただきます。</p> <p>4) 及び5)につきましては、要望事項としまして教育委員会において検討を図りたいと思います。</p> <p>6) 6ページの表記としまして、「別荘・保養所等のリゾート資源を有しています。」の表記に止めさせていただきますのでご理解願います。</p>
14	(旧商店名)跡地利用のご提案 (詳細は省略させていただきます。)	今後の跡地利用を検討する際の参考のひとつとさせていただきます。